

R7 農事メモ(第6号)

令和7年7月11日
白山石川営農推進協議会
白山農業協同組合

「斑点米カメムシ類多発注意報」が7月3日に発令されました

1. 令和7年度 白山石川地区雑草地カメムシ調査結果

6月下旬調査 42地点 109か所

年次	シラホシ カメムシ類	飛翔性 カ メ ム シ 類				合 計
		トゲシラ ホシカメムシ	クモヘリ カメムシ	ホソハリ カメムシ	カスミカメ類	
					アカスジカスミカメ	
R 7	0.30	0.22	0.28	6.84	8.72	16.38
R 6	0.51	0.16	0.29	12.04	9.63	22.64
対平年比 (%)	200	550	255	224	248	238
過去10年 平均	0.15	0.04	0.11	3.05	3.52	6.88

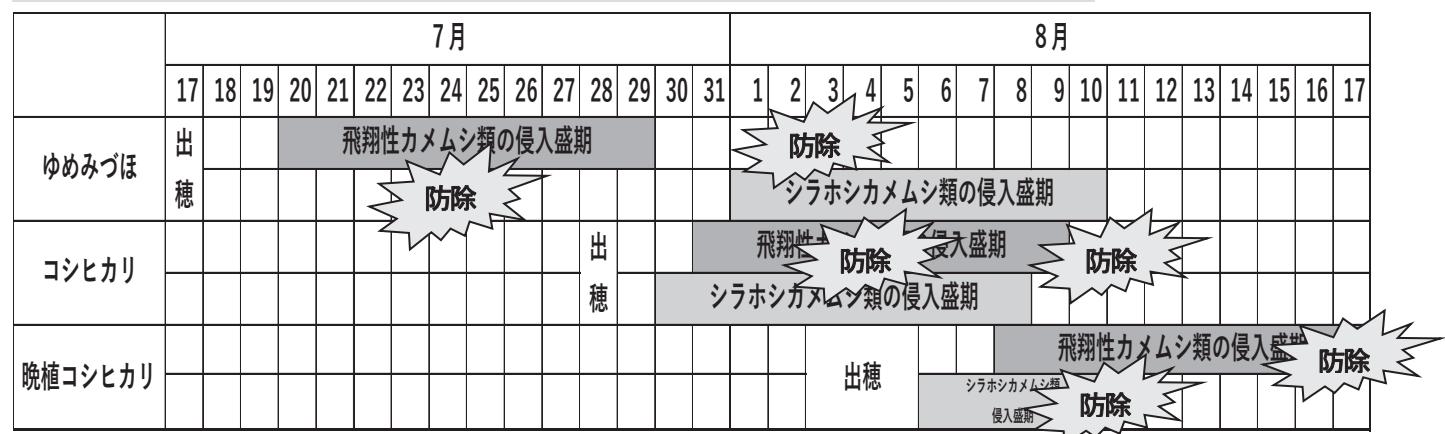
- 雑草地生息調査では 前年より少ないものの、平年の約2倍になっています。
- アカスジカスミカメ・アカヒゲホソミドリカスミカメなど飛翔性のカメムシが多く捕獲されており、いずれの種類も平年より多くなっています。

斑点米低減の対策

斑点米カメムシ
多発中！！

- カメムシ防除剤の2回散布を徹底
→「傾穂期(出穂後7~10日)」と
「その7日後」の2回防除が効果的
- 本田内除草を徹底
→雑草の種をめがけて本田に侵入

2. カメムシ類水田侵入盛期予想と防除適期 (液剤・粉剤)



3. 防除散布時期目安

体系	散布時期	対象病害虫	薬剤名	使用量 10a当たり	ゆめみづほ	コシヒカリ	本剤の 使用回数	使用時期
粉剤防除	1回目	いもち病、 ウンカ類 カメムシ類	ビームトレボン 粉剤5DL	4kg	7月23日 ~27日	8月 1日 ~ 5日	3回以内	収穫7日前まで
	2回目	いもち病、 カメムシ類他	ビームスターク ル粉剤5DL	3kg	8月 2日 ~ 6日	8月11日 ~15日	3回以内	収穫7日前まで
液剤防除	1回目	いもち病、 カメムシ類	ビームエイト トレボンゾル	100~150L (650倍)	7月23日 ~27日	8月 1日 ~ 5日	3回以内	収穫14日前まで
	2回目	いもち病、 ウンカ類、 カメムシ類他	ビームエイト スタークルゾル	60~150L (1000倍)	8月 2日 ~ 6日	8月11日 ~15日	3回以内	収穫7日前まで
粒剤防除	1回目	いもち病、 紋枯病、 カメムシ類他	イモチエース スタークル粒剤	3kg	7月 9日 ~13日	7月18日 ~22日	1回	収穫35日前まで
	2回目	カメムシ類、 ウンカ類、ツマグ ロヨコバイ他	スタークル粒剤	3kg	7月23日 ~27日	8月 1日 ~ 5日	3回以内	収穫7日前まで
			スタークル豆つぶ	250g				

※ひやくまん穀については、ひやくまん穀通信にてご連絡いたします。

4. 出穂以降～刈取直前までの水管理

- (1) 出穂から開花期は、水分補給を目的に湛水状態(花水)とする。
- (2) 開花期以降は、2~3日おきの間断通水により、飽水管理を行い、根の活力を維持する。
- (3) 間断通水では、地温を下げる夜間入水が効果的。
- (4) フェーン現象等の異常高温・強風が予想される場合はあらかじめ通水する。
- (5) 少なくとも刈取3~4日前までは間断通水を継続し、高温登熟の場合は刈取直前まで通水する。

高温対策

「コシヒカリ」上乗せ追肥について

- 出穂前の葉色が淡い場合(葉色4.5未満)は、基肥一発肥料であっても出穂7日前頃に追加穗肥を施用し、高温登熟による白未熟粒発生を防ぎましょう。

7月21~24日(出穂7日前)を目安に

「BBとれるぞう」7~10kg/10aを施用

※ただし基肥に「コシ一発くんDX24」を施用している場合は、上乗せ追肥は不要です！